

宿泊団体のみなさまへ

おっぱら自然体験センター

おっぱら自然体験センターでは、新型コロナウイルスの感染予防と「コロナとともにある新しい生活様式」に対応したご利用方法を以下のように作成いたしました。みなさまにはご不便をおかけすることになりますがご理解とご協力をお願いいたします。

【施設における取り組み】

- ・職員は基本的にマスクを着用して対応させていただきます。
- ・玄関、トイレに手指消毒用アルコールを設置します。
- ・寝袋は基本的にはご持参いただくようお願いいたします。
ご用意いただけない場合は、貸出用寝袋をお使いいただけますが、必ずインナーシートを使用してください。インナーシートはレンタル（1枚250円）が可能ですが、ご自身でご用意いただくとありがたいです。インナーシートの作成例を別紙に載せますので参考にしてください。
- ・屋内での活動プログラム（体育館でのスポーツ、クラフト、調理など）は感染予防の配慮が必要となります。個別に内容をご相談ください。
- ・当施設が提供する自然体験プログラムは感染予防の観点から下表のものとさせていただきます。内容や制限人数については、一般的な目安です。団体ごとに年齢や構成が異なりますので内容や制限人数につきましては個別にご相談ください。
内容に応じてマスクの着用をお願いすることになります。各自でマスクをご持参ください。

	名 称	内 容	制限人数
1	川遊び魚つかみ	馬瀬川での川遊び 捕まえた魚をさばいて、塩焼きにして食べる	40名
2	魚つかみ	魚つかみ場で魚を捕まえ、グラウンドでさばいて、塩焼きにして食べる	40名
3	川での砂金採り	馬瀬川で専用皿を用いて自然金を探す	25名
4	室内砂金採り	室内の水槽で専用皿を用いて砂金を探す	12名
5	ナイトハイク	自分で作ったランタンの光だけで夜の森を歩く	20名
6	山菜採り	食べることのできる野草を見つけながら散策 ※天ぷらにして食べる体験は行いません	12名
7	ブルーベリー狩り	ブルーベリー園での収穫	50名
8	熱気球搭乗	グラウンドで熱気球に搭乗し20m程度浮上	100名 1回の搭乗4名

【利用される皆様へのお願い】

(1) 体調の確認

- ・ご利用日から2週間以内に発熱や咳、のどの痛み、臭覚や味の異常、風邪の症状、体調不良等の諸症状が無い方のみ受け入れ可能です。

(2) 持参物のお願い

- ・各団体で消毒薬（手指及び手を触れた所の消毒用）、体温計をご持参ください。（体温計の貸し出しは行っておりません）
- ・各自でマスクとハンカチ、タオルなどの手をふくものをご持参ください。
- ・館内のスリッパは供用を避けるために貸し出しは基本的に行いません。館内用の履物（上履き、スリッパ）を各自ご用意ください。

(3) 利用日の朝

- ・利用者全員の検温を行い、別紙「ご利用者名簿」に記録して事務所に提出してください。

(4) 活動時

- ・マスクを着用するなどして飛沫対策をしてください。
- ・こまめに手洗いを行ってください。
- ・手洗い後のタオルやハンカチはシェアしないでください。
- ・近距離での会話、発声は避けるようにしてください。
- ・接触のあるスポーツ活動、合唱合奏等の活動は控えてください。
- ・部屋の定期的な換気（1時間に5～10分）を行ってください。

(5) 食事時

- ・席は向かい合わせにならないように配置してください。
- ・人数が多い場合、グループで時間をずらすなどの対処をお願いします。

(6) 入浴時

- ・密にならないように、分散して入浴するようにスケジュールを組んでください
- ・脱衣場は換気扇を回し、できるだけ窓を空けるなどして換気を行ってください。

(7) 厨房

- ・食器は洗浄後、乾燥機で滅菌処理を行ってから食器棚にしまってください。

(8) 体調不良の方が出た場合

- ・発熱、咳、だるさ（倦怠感）などの症状があった場合は直ちに事務所に連絡してください。
- ・上記の症状が出た場合は、他の同室の宿泊者を他の部屋に移動していただくこととなります。また、原則全員速やかに退所していただくことをお願いします。保健所にも連絡をいたします。

(9) 利用終了後

- ・利用者が触れた箇所を消毒してください。（消毒液は団体で準備してください）
- ・ゴミをまとめる際はマスク、手袋をしてください。
- ・退所後、2週間以内に利用者の新型コロナウイルス感染症への感染が発覚した場合は、速やかに当施設へ連絡してください。

代表者は、以上の項目を利用者全員に周知させてください。